

議会報告・意見交換会報告書

NO.1

(2班)

開催日時	平成30年5月7日(月) 午後7:00 ~ 午後8:40まで		
開催場所	東有田地区全体 東有田公民館にて		
出席議員 (自治会)	議員名①	(班長) 坂本 茂	
	議員名②	安達 明成	
	議員名③	石橋 邦彦	
	議員名④	井上 正一郎	
		氏 名	
	司会及び進行	安養寺 東有田振興センター長	
	開会挨拶	荏隈 吉則 諸留町自治会長	
	議員自己紹介	議員各自で自己紹介	
	主要事業報告	3 常任委員会担当議員ごとに報告	
	意見交換	全体より意見交換	
閉会挨拶	荏隈 諸留町自治会長		
記 録	・井上正一郎 ・坂本 茂		
参加人数	29名(内訳:男性27名、女性2名※議員1名含) アンケート回収25名		
主 意 要 回 な 見 望 答	<p>・19時から開会</p> <p>① 司会・開会あいさつ・・・安養寺東有田振興センター長</p> <p>② 地元自治会長あいさつ・・・荏隈 東有田自治会連絡協議会会長</p> <p>③ 議員自己紹介</p> <p>④ 平成30年度主要事業及び予算について、配布資料により各常任委員会担当議員3名から説明する。</p> <p>⑤ 次に全体的な意見・質問を受ける。</p> <p>(A氏)</p> <p>孫が今年東有田中学校に入学したが、入学生が2名しかおらず、年々周辺部の中学校の生徒が少なくなっている。教育は人間が多ければ多いほうが勉強ができることや、少なければそれなりにできるが行政コスト等かかることもあり校舎・施設の維持費がかかることを考えれば、統廃合の声が上がるのではないかと思うが、何ら情報が聞こえない。日田市の中学校統廃合について市の</p>		

動きや考え方が分かれば教えてほしい。

(議員)

平成 16 年度以降、旧日田市内の夜明小、合併後は旧郡部の大山小などが統廃合したが、それ以降は小中学校の統廃合については、教育委員会としては何も動きはありませんし、議会にも話はありません。

(B氏)

今までの経過を見ると、小規模校の中学校の生徒の減少の要因としては、中学校の生徒の減少により部活動が人数不足により成り立たず、部活ができる北部中学校や東部中学校に転校して部活動を行う傾向があり、東有田中学校の入学生徒が年間 2~3 人減ってきているのが実態ではないかと思う。その解決策として授業は、その出身中学校で受けて、授業終了後に、部活のできる中学校へ移動してもよい体制などを教育委員会が許可することができれば解決するのではないか。これは東有田中だけではなく、周辺部小規模中学校はどこでも問題となっていることだと思います。

(A氏)

統廃合が良いというわけではないので、何か良い解決策があれば教育委員会にも話をしていただきたい。

(議員)

今、教育委員会としては表にでるような動きはありませんが、出ました意見をお伝えして投げかけてみます。その結果をお伝えします。

(C氏)

もしかしたら、来年 4 月には入学生が校区外の北中や東中に入学し、東有田中学校の新入生が 0 になる恐れもある。校区外入学をどういう理由で許可しているのか議会から教育委員会に申し入れをして、簡単に校区外入学ができないことをはっきりして議会として大きくとらえてほしい。

(D氏)

岩見町有田川の災害復旧について、県の土木事務所の説明では、人家のあるところについては、河川の中にある大きな岩等について除去するが、人家のないところは、岩を揚げないとの説明であったが、岩をそのままにしておけば、下流にまた被害が出る。河川の中の動いている岩については、川から揚げて除去するように県に要望していただきたい。

(議員)

議会のほうでも現地を見て要望したいと思います。後日でも現地を案内してもらいたいと思います。

(E氏)

一点目は、災害復旧についてですが、県道側の護岸工事は完了しているが、市道側の護岸工事はまだ済んでいない。また雨が多ければ孤立状態になる家があるところで地元は不安になっている。現地を検証していただきたい。今後の予定では 5 月 15 日には、羽田町公民館で工事関係の説明会があるようになっ

主 見
 意 見
 ・
 要 望
 ・
 回 答

ている。機会があれば来ていただきたい。2点目は、有田小学校は西有田地区と東有田地区の全部の小学生が通学しており、みんな友達ができ仲良くしており、その中でクラブ活動の話が出て、中学校で同じクラブに入りたいということで、クラブ関係での転校があると聞いています。できるだけ子供の意見も聞き入れてやり、いい方策をとっていただきたい。

(議員)

先ほどの岩見町と同様に委員会で現地確認ができれば行きたいと思います。

(F氏)

県の河川については若干復旧工事が進んでいるが、市の河川についてはほとんど工事にかかっていないし、たんぼの護岸工事も進んでいない。一か所、大きな山崩れが起きている所は測量が済んでいるが、まだまだ着工してない。早急に工事にかかるよう要望していただきたい。

(議員)

市の所管する河川ですね。要望を伝えます。

(B氏)

地区社会協議会からの会長の立場で要望があります。東有田地区では高齢化率が42%で非常に高い。さらに75歳以上の一人暮らしが30数名います。この方々の一番の不便さが、病院や買い物の足の確保が大変になってきている。いろんな対策が考えられているが、中津江などのデマンドタクシーなどの活用が東有田地区でも利用できないでしょうか。少し負担がかかるが高齢者の足の確保について周辺部の高齢者対策としてデマンドタクシーの利用はできるようぜひ考えていただきたい。

(議員)

昨年より日田市内の交通体系についてどのようにあるかアンケートとりながら本年、本日配布された、日田市地域公共交通網の形成計画ができましたので、今後、周辺部の交通弱者対策は必要となってきますので、この計画を具体的に進める中で議会から執行部に、今のご意見を反映させていきたいと思えます。それと、現在日田市では周辺部の住民自治組織の立ち上げについて力を注いでいます。地域力日本一を掲げ、地域のことは地域で考え、行政にどんどん物申していく。そして地域の力と行政の力を合わせて、地域の発展を進める。という施策を進めています。是非どんどん地域の自治組織を立ち上げ、要望をあげていただきたい。市のそのことについて支援をしていく条例改正も行っている。

(B氏)

確かに自助・共助とあるがやはり市からの公助が必要となってくるので、議会側からも、行政の応援をぜひお願いしてもらいたい。

(G氏)

町内を流れている松野川が災害にあい、これは準用河川であるが、河川沿いの護岸は激甚災害の対象になっているが、その上のたんぼの中だけは激甚災害

主 な
意 見
・
要 望
・
回 答

の対象になっている。意味がわからない。護岸の復旧については今見積もりを取っているので土木課に尋ねに行くようにしているがどうしてだろうか。産業建設委員会でぜひ取り上げて現地調査をしてもらいたい。

(H氏)

水利組合や集落営農組合などの個人の所有でない共有物的なものは激甚災害の対象にはならないようだ。

(議員)

ぜひ委員会として現地を確認してみたい。

(議員)

農業委員会事務局長より農業振興課及び土木課に伝えていただくとのこと。

(I氏)

部落での共有林管理が非常に難しくなっています。集落の中でも境界や現地も分からなくなっている人が多くなっている。今後ますます高齢化が進めば管理もできなくなる。今後の方策は及び管理方法について何か良い対策はないだろうか。

(議員)

日田市では、管理できない山林について、森林経営計画を提出していただいて、森林組合が維持管理を受けて共有林等の維持管理を行なう事業がありましたが、所有者が分からない場合は難しい。堺等が分からない場合は、森林組合等に確認できるのではないだろうか。字図や番地等が分かれば、森林組合等で確認できるのではないか。担当課に確認してみます。

(J氏)

水利組合からの要望があります。河川上流の災害のために河川の中の土砂の除去は行っているが、水利組合が管理する水路の土砂取り除きはやってくれない。是非現地を見てもらいたい。

(K氏)

定住交流促進事業の中で企業誘致についてお尋ねしたい。これまではすごく情熱をもって企業誘致を行っていたが、今は熱が冷めてしまっている感じがする。日田市としてまた、議会としては企業誘致の力の入れ具合は現在どうしているのか。

(議員)

企業誘致の現状について説明する。現在はオーダーメイド方式で企業からの要望に応えるような方式で企業誘致を行っています。近年は特に IT 関連の企業誘致を行っています。近年では、T&SやZ A i MUクラウドサービスなどまた、遠山工業、名水美人ファクトリー（もやし工場）、OTOGINO（炭酸水の工場）、そういった企業の誘致を行っている。地元企業では、キヤノンが今年度から50名ずつ3年間の募集採用を計画しているが、今年度については40名の募集をしたようです。名水美人ファクトリーは毎年募集をしているみたいです。TDKでは今年7名の募集でしたが、4名採用している。来年からも随時

主 な
意 見
・
要 望
・
回 答

採用していきたいとのことでした。

(議員)

日田市内の製造業関係で募集はしているけど人数が集まらない現状がある。現在日田市は、土地開発公社がないので、先に用地を取得することはできないため、オーダーメイド方式をとっている。また、中津日田道路が早期完成することで、中津からの企業の誘致を狙う。日田市では、ビジネスサポートセンターを設置して企業の誘致を図っています。

(議員)

また企業立地推進室では、年に何回か大阪・東京方面へのセールスにも出かけているとのことでした。

(L氏)

主 な
意 見
・
要 望
・
回 答

東有田地区の消防団後援会長として要望します。東有田地区の避難場所については、東有田中学校の体育館が指定の避難場所であったが、当初、避難場所として町内の公民館に避難して、それから東有田中学校までは、すでに道路が寸断され、行くことができなかった。町内の公民館に避難していることは市の防災本部に連絡をしているが、支援物資も届かず消防団員の方がおにぎり等準備していただいた。市の防災本部としても、もう少し地区の避難場所の対応について柔軟な対応をしていただきたい。

(議員)

地区の避難する場所については、地区の方が一番わかっていると思いますが、日田市が指定する避難場所については、耐震性や安全性の面から指定していて、そこしか支援物資が届かなくなっている。5年前の災害、また今回の災害と続いたので、市のほうも避難場所の確保について、地域の方々と協議しながら検討していく必要があると思います。

(M氏)

松野原の近くの山が崩壊して田んぼまで流れ込んでいる。その山の中腹に亀裂が入っている。田んぼは災害復旧するが、山林は何もしないと言った。工事をしていて危ない場合は処理する。と言っている。どうにかならないのか。一度現地を見ていただきたい。

(議員)

一度産業建設委員会で現地を見てみます。

(C氏)

山林の林道については、市道と同様に日田市が管理することになっている。池辺地区では、2本の林道があるが、毎年林道の舗装については、地元で原材料の生コンを支給して、地元施工をさせている。市道と同じように日田市が管理するのであれば、なぜ林道は日田市が管理しないのか。作業道とは違う。議会としての考えはどうか。高齢者が多く地元施工は困難になってきている。どうにかならないか。

主 な
意 見
・
要 望
・
回 答

(議員)

担当課に要望を伝えます。

(N氏)

J R 日田彦山線の災害復旧について、久大線の光岡の鉄橋については7月中旬に復旧すると聞いているが、日田彦山線の復旧については、今市町村の負担割合などが協議されていると聞いているが、日田市の議会としては、大鶴・夜明地区でのこの取り組みについて動きなどを進めているのかどうか。

(議員)

久大線の光岡鉄橋については、7月に復旧することは確定しましたが、日田彦山線の復旧については、ご存知のように70億ともいわれる被害が出ています。国の動きとしては、法律の改正で黒字の出ている会社でも、関係自治体と一緒に復旧工事費の補助が出るような法律改正の動きもあります。また、関係自治体の日田市と朝倉、東峰村、田川市と市町村長や議会と協議を進めているような状況です。

(O氏)

先日から回覧板で土砂災害についての山林の調査をさせていただきますとの回覧板が回ってきたが、その調査が終わったら調査結果が出たら早急に報告をしていただきたい。

(議員)

その回覧板は県土木事務所からですか。土木に要望しておきます。

(G氏)

防災士について、各自治会に何人ずつか要請が出ているのか。全体で何人ぐらいなのか。

(議員)

現在日田市では、毎年50名ずつ養成していく計画です。現在日田市では、全体で現在406名の方が研修を受けている。それに市役所を含めると461名の防災士がいます。東有田地区では、池辺町3名、松野町4名、諸留町9名、上諸留町2名、月出町4名、羽田町1名、日の本町1名、岩美町4名、東羽田町0名となっています。是非それぞれで申し込んでいただきたい。

現在防災士同士のスキルアップの研修も行っています。

(議員)

予定時間が過ぎましたので、ここらで終了したいと思います。

最後に荏隈自治会長よりあいさつ

—午後8時40分—